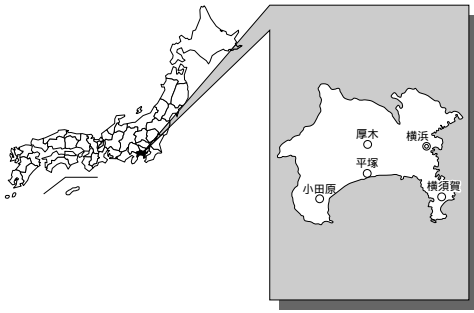


土木紀行

旧横浜船渠株式会社 第一号船渠

神奈川県横浜市



はじめに

横浜港は、1859（安政6）年に開港後、貿易の拡大と入出港船舶の増加に伴い、現在のみなとみらい21地区に本格的な修繕用船渠（ドック）の建設が計画されました（写真 1）。



写真 1 みなとみらい21着工間もないころの旧横浜船渠のドック。一番大きいドックが第一号、その左が第二号、第三号

一号ドックの歴史

当時の世界の主要港には港湾施設として、必ず船の修繕施設であるドライドック（乾船渠）がありました。イギリス人土木技師のパーマーが、地元横浜の実業家らからドックの設計を依頼されましたが、パーマーは着工前に急逝したため、海軍技師・恒川柳作がパーマーの案に基づいて、設計と監督を行い、大小2個のドックを建設しました。

大きなドックは第一号船渠（以下「一号ドック」という）で、全長約168m、1万t以上の船の対応が可能でした。小さなドックは第二号船渠（以下「二号ドック」という）で、全長約128m、

当時の横浜港に入出港するほとんどの船に対応できました。構造はいずれも明治期の主流の石造で、現在の神奈川県真鶴町一帯から切り出された小松石（安山岩）が使われました。

一号ドックの操業

一号ドックは1898（明治32）年12月に竣工し、翌年5月に開渠式を行って操業を開始しました。船の大型化に伴い、1918（大正7）年には内陸方向に約34m延長しました。横浜船渠は1935（昭和10）年に三菱重工に合併し、同社横浜船渠（後に、同横浜造船所）となります（写真 2）。

その後、みなとみらい21地区の整備に伴って、三菱重工横浜造船所の移転が決まり、1982（昭和57）年12月に一号ドックは83年間の歴史に幕を下ろしました。

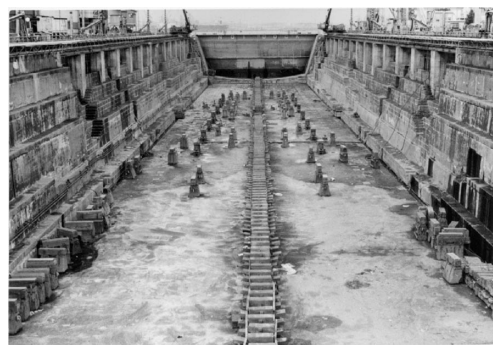


写真 2 三菱重工横浜造船所時代の一号ドック

一号ドックの新たな活用

その後、一号ドックは、横浜市が誘致した帆船日本丸の保存、公開のために、1984（昭和59）年7月から改修工事に着工し、一帯は日本丸メモリアルパークに整備されました。水を抜いたドライ

の状態の二号ドック（現在のドックヤードガーデン）に対し、一号ドックは水を張った状態という対比した姿で保存されています。現在は一般公開されており、いつでも見学することができます。

一号ドックの歴史的価値

2000（平成12）年12月に一号ドックは国の重要文化財に指定されました。明治期の代表的ドライドックであり、大正期の延長部分も時代の特徴をよく示し、ドライドック築造技術の変遷を知るうえで価値が高いことが評価されたものです。一号ドックは、土木技術史だけでなく、横浜港の歴史上でも貴重な土木構造物であるとともに、近代横浜の都市形成上も重要な遺産です。また、2007（平成19）年には、通商産業省の近代化産業遺産にも認定されました（写真 3～5）。

(1) 一号ドック概要

一号ドックは、ドック先端部の半円形をした渠頭部、扉船を収める渠口部、渠頭部と渠口部の間のドックの大部分を占める本渠部からなっています。

- ・設計：H.S. パーマー / 設計・監督：恒川柳作
- ・起工：1896（明治29）年7月 / 潮留工事：1896年7月～1897（明治30）年3月 / 掘削工事：1897年4月～1897年12月 / 船渠築造工事：1898（明治31）年2月～1898年12月
- ・竣工：1898年12月 / 開渠：1899（明治32）年5月
- ・延長工事：1917（大正6）年5月～1918（大正7）年8月 約34m延長
- ・建設当初の寸法（恒川柳作「船渠の話」1899年）全長：167.814m（入渠できる船の長さ153m） / 幅（渠口上部）：28.520m，幅（渠口下部）：23.000m / 深さ（渠内，最大満潮面から渠底面まで）：10.000m
- ・現在の寸法：全長203.500m / 上幅：38.650m / 渠幅（渠底）：約23m / 深さ（渠内，船渠天端から渠底面まで）：11.456m / 渠内海水容量：50,920m³（約5万t）

(2) 国重要文化財指定

- ・名称：旧横浜船渠株式会社第一号船渠（ドック）

・所在地：横浜市西区みなとみらい二丁目7番10号

・員数：一基

・構成および形式：石造，煉瓦造およびコンクリート造乾船渠（ドライドック），左右翼付属¹・旧排水ポンプカバー²二基

・所有者：横浜市

1 左右翼付属：扉船後方の海に面した左右の石積み。ドック築造時の水際線を示している。

2 旧排水ポンプカバー：イギリスのアーレン社1896年製のドックの排水ポンプのカバー。日本丸メモリアルパーク内に保存されている。



写真 3 日本丸の船体整備工事でドライアップした一号ドック



写真 4 扉船左側から渠頭部を見た一号ドック

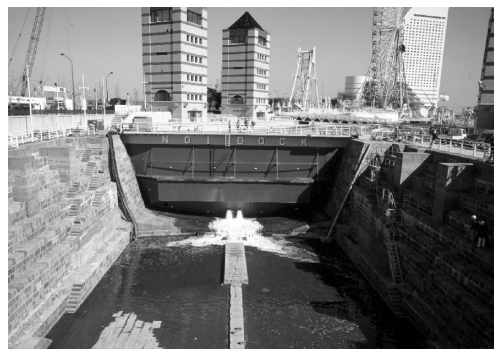


写真 5 一号ドックへの注水